

日本原子力学会 核燃料部会
平成 30 年度第二回運営小委員会議事録

日時 : 平成 30 年 8 月 7 日 (火) 12:30~13:15

場所 : 掛川グランドホテル 3 階杉・檜の間 (3 部会合同夏期セミナー会場)

出席者 : 寺井部会長、草ヶ谷副部会長、天谷委員、島本様 (大矢委員代理)、川西委員、堀内委員、仁和様 (佐藤 (隆) 委員代理)、弓弦様 (篠原委員代理)、木下様 (谷口委員代理)、原田委員、柳沢委員、渡部委員、島田 (記)

議事

1. はじめに

委員会開始前に、同会場にて春の年会の核燃料部会学会講演賞の表彰式を行った。

委員会冒頭、今回から委員として参加する堀内委員より自己紹介及び挨拶があった。

2. 前回運営小委員会議事録等の確認

島田庶務幹事から、資料 1 により、前回 (平成 30 年度第一回) 運営小委員会議事録が提示された。事前にメールにて確認済みである旨紹介し了承された。

3. 平成 30 年度核燃料部会運営小委員名簿、業務担当について

島田庶務幹事から、資料 2-1~2-2 により、平成 30 年度の業務担当と今後の業務分担について説明があった。堀内委員が河原委員の後任として業務分担することです承された。

4. 平成 31 年度夏期セミナーについて

資料 3 により、天谷委員より平成 31 年度 (2019 年度) の夏期セミナー案 (7 月 10 日 (水)~12 日 (金)) について報告があった。開催場所を宮城県松島町、見学場所を東北電力女川原子力発電所とする案を第一候補とすることが了承された。セミナー幹事としては、今後東北電力殿と連絡を取って同場所での開催について検討し、年内に開催場所等を確定させていくような工程で進めていくことを考えている、とのことであった。

5. 「旅費・謝金・参加費内規」の見直しについて

資料 4 により、草ヶ谷副部会長より学会の「旅費・謝金規約」の改定を受け、当部会の内規の見直しについての検討結果が示された。学会の総務財務委員長からの通知では、原則として基準の範囲外や超える額は支給できないとされている。したがって、部会の内規としては学会の規約に準ずるものとする、という書き方を基本とし、今後の学会規約の改定に伴う修正が不要となるよう、対応する方針とされた。草ヶ谷副部会長と庶務幹事により、次回の運営小委員会

に案を提示することを目途とすることとなった。

6. その他

(1) 核燃料部会報 (No. 54-1) 編集進捗表について

山内委員作成の添付資料「核燃料部会報 (No. 54-1) 編集進捗表」が原田委員より紹介された。これに関連して、先ごろ作成された部会報 No. 53-2 に、国際会議の予定を 1 件追記したい旨、天谷委員より申し出があり、改訂版の作成に制限はなく、次回の運営小委員会までに大矢委員に追記をお願いすることとなった。

(2) 経済産業省公募研究「事故耐性燃料開発」について

川西委員より、前回の運営小委員会で紹介した公募研究については、電力会社の協力を得て、各社の燃料ご担当者から成る“技術諮問 WG”が立ち上がることとなり、資源エネルギー庁の了解を得て研究継続可能となった旨、報告があった。

また、同委員より、「(前回運営小委で申し出た)『核燃料部会メンバーを中心とする核燃料有識者から、これまでの研究成果および今後の計画に対し、学術的観点からのコメントを聴取したい』について、具体事項の調整を進めていきたい」との申し出あり、寺井部会長以下出席者の了解を得た。

(3) 学会講演賞

国内企画担当の川西委員より、秋の大会・核燃料部会学会講演賞の準備状況について口頭報告があった。選考小委員会・評価者メンバーおよび選考基準の素案はできており、8/22の企画小委員会での議論を経て、運営小委員会に諮る予定(時間的な都合によりメール審議)、との由。

(4) 次回の開催予定

次回(平成 30 年度)第三回運営小委員会は、10 月 26 日に原子力学会事務局会議室で開催予定とした。

以 上